

地域を支える 町内会



市内には282の町内会があり、住みよいまちづくりを積極的に推進しています。その重要な役割を果たす町内会を取りまとめる21の地区連合町内会について、順に紹介します。

岩滝 地区連合町内会

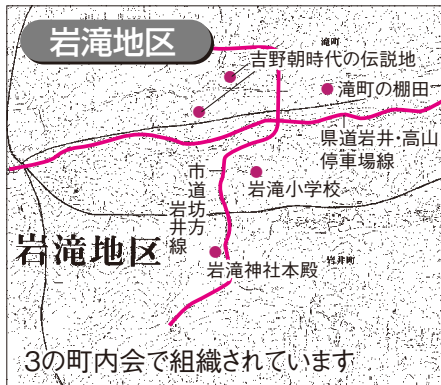
地区会長の一言



つかもと せいさく 塚本 清作さん (岩井町内会長)

岩滝地区は、高山市の東部に位置し、市街地から8キロ、国立乗鞍青少年交流の家・飛騨高山スキー場との中間に位置し、岩井、滝、生井の3町内で構成されています。南北朝時代に活躍した楠正成の学問の師であった「瀧覚坊」が修行を積んだといわれる伝説の場所であるとともに、岐阜県の棚田21選にも選ばれた滝町の棚田、日本一星が美しく見える国立乗鞍青少年の家を有し、歴史とロマン。

自然豊かな地域です。平成13年には、東部農場の造成により、高冷地野菜の栽培農家も軌道に乗り、光が見え始めました。また、岩滝トンネルの開通により国道158号と361号とのアクセスがより便利になりました。面積308鈔の恵まれた大地を生かし、みんなの力で夢の持てる岩滝にしたいと願っています。



平成13年には、東部農場の造成により、高冷地野菜の栽培農家も軌道に乗り、光が見え始めました。また、岩滝トンネルの開通により国道158号と361号とのアクセスがより便利になりました。面積308鈔の恵まれた大地を生かし、みんなの力で夢の持てる岩滝にしたいと願っています。

● 私たちの地区自慢 ● いつまでも 残したい棚田

岐阜県の「棚田21選」に選ばれた滝町の棚田(飛騨では飛騨市宮川町の種蔵とニカ所)は、大八賀川の上流部に位置しています。棚田は小さな水田です。長い歴史を経て形成・維持されてきた山村における農業生産の場であり、その多

くが最上流部にあって自然と深く対話をしています。現在は、約7・7鈔。水田枚数約80枚を地元の方が実際に米やアブラエを栽培生産し、地区の保存会で管理しています。また、雫宮祭りの酒米づくり、グリーンツーリズム、たこ揚げ大会などのイベントも行って

います。自然が失われている現在、希少価値である棚田を、文化遺産として後世まで残し

きらり輝く 地域活動☆ 伝統芸能の継承

岩滝地区は、古来より敬神の念が篤く、風光明媚な地を選び社殿を造営し、毎年祭典を厳粛に行っています。地区には岩井神社・滝町の津島神社、生井白山神社の3つの神社があります。特に岩井神社の本殿には、安永5年名工といわれた東雲勘四郎棟梁の手によって造営された銀幣社で、高山市の文化財に指定されています。

各社とも近年若連中により鬮鴉染が盛り上がっています。獅子舞



獅子舞の虻取り

の虻とり、打鉦によりさんごのカタ、長十六、荒木十六などを奉納します。伊勢神楽の赤鬼・お亀・火男・鐘馗の舞は疫病神を追い払うといわれます。

今後とも、老若男女集まり、全員で奉仕します。

住みよいまちづくりはみんなの手で!

《防犯灯の設置・管理》

夜道での安全を守っている防犯灯の設置や維持管理は町内会で行っています。

町内会未加入の方は、ぜひ加入をお願いします。

問合せ先

町内会連絡協議会事務局
35-3412



滝町の棚田

ていきたいと考えています。